

✦ ガバナーメッセージ

地区大会を前に — 多国籍地区としての特色を生かす —



国際ロータリー第2750地区 2008-09年度ガバナー 新藤 信之

いよいよ2月はグアムでの地区大会です。20年前、グアムロータリークラブ50周年を記念し、初めてグアムで開催して以来、10年毎の3回目の地区大会となります。

2007年1月15日の会長会でグアムを地区大会の開催地として決定し(RI 細則15.040.1)早いもので2年経過しました。

この間、谷島年度、坂本年度のグアム開催のPETS、地区協議会をはじめ、大会準備のために何回かグアムを訪問しました。これにより、パシフィックベイシンググループ(PBG)の人達と貴重な交流を重ね、理解と親善を深めることができました。正に、グアム大会はロータリーの理想とする世界平和と国際親善を促進し、友情と相互理解を深める絶好の機会となります。今回の地区大会の目的は、地区内外のロータリアンおよび家族の方々にPBGの活動を紹介し、相互の理解と親睦を通じてRIテーマ、更にはロータリーの綱領を推進することです。

近年のPBGにおける活動を紹介するには、谷島年度から3年間の試験的プログラムとして開始された「GROUP FOR ONE」を抜きには考えられません。このプログラムは、PBGの8クラブと国内8グループとが各々マッチングして、奉仕活動に限らず広く国際的交流をしようという目的で企画されたものです。それまでは、PBの8クラブは同じ地区でありながら、むしろ他の国や他の地区との交流や奉仕活動が主流でした。谷島年度で、離島4クラブからクラブ指導者3名をPETS、地区協議会に参加させ、これまで以上に研修と情報交換を充実させ、RIから遠隔地での「研修助成金」をいただきました。谷島年度のガバナー公式訪問では、前年のWCSの視察をもとに、8クラブのニーズを的確に調査・把握し、このプロジェクトに反映させてきました。このことが坂本年度で数々の実績として表れ、ホップ、ステップ、ジャンプと今年度に引き継がれています。今回のGUAM地区大会を、3年間の試験的プログラムの「ひと区切り」とし、今後のPBGとの活動を更に深化すべく、クラブ／グループを超えて地区レベルで検討することを期待します。

具体的には、前号で述べたR財団未来の夢計画の2つの補助金をPBGのプロジェクトに反映できるか検討することです。

地区大会では、主に終了した又は継続中のプロジェクトをいくつかを紹介する予定です。

具体的には①チュークRCの水プロジェクト ②サイパンRCスケートボードパークプロジェクト ③ボンベイRC・水プロジェクト ④新世代プロジェクト(ローターアクト、交換学生事業、友情の奨学金)等です。この内、特に、チューク州の水プロジェクトは多くのクラブが地区の支援の下で3年間参加し続けてきたプロジェクトで、今後も継続が必要なものです。新年早々、京浜グループ舟木ガバナー補佐より朗報が入り、実現可能なものとして、具体的に大きく進展しました。次頁で紹介いたします。

前号でお知らせ致しましたが、RI会長代理は元RI理事の蔡 熙秉氏です。現在、韓日親善委員会の委員長をされております。その関係もあり、RI会長代理エイドを市川パストガバナー、エイド補佐を松下特命幹事にお願ひしました。そして1月7日～9日、松下氏と国際友愛委員長 伴さんと共に韓国へ表敬訪問して参りました。氏についてはソウル・青森2回の日韓親善会議の際と昨年11月の第3650地区大会の朝食会でお会いしましたが、親しくお話しできたのは今回が初めてでした。ロータリーに対する考え方、またその温厚なお人柄に触れることができ、今回訪問できて本当に良かったと思ひました。氏の詳細なプロフィールについては次頁で紹介させていただいておりますが、54歳でガバナー、1997-99年度RI理事を務められ、RI会長代理は1990年以來今日まで20回もの多くを経験されております。近年のRI会長3名の相談役としての諮問委員、RI財政委員、国際大会委員等、幾多のRIの重責を担ってきた方です。3回の会合で、RIの財政問題、会員増強問題、世界の特に韓国ロータリー・クラブの現況、CLPに対する考え方等を三十数年にわたるその時々々の貴重な経験談を交えて、お聞きできたことは光栄でした。感謝。

GM INDEX

- ✦ ガバナーメッセージ
- ✦ チューク州蒸留器供給プロジェクト ガバナー 新藤信之
- ✦ RI会長代理プロフィール
- ✦ 文庫通信／寄付報告／物故
- ✦ 出席報告／編集後記

<http://www.ri2750.org/>

✦ ガバナーからのお知らせ

後半期が始まっています。年間のクラブ目標と地区目標達成に向け、数値目標を含め、着実に努力して下さい。

特に、後半期は会員増強と会員研修に力を入れて下さい。12月末現在 +48名の増強となっていますが、6月末を基準とすれば-7名です。まだまだ努力が必要です。

各グループで新会員研修セミナーを企画しています。次年度のPETS、地区協議会と並行し、クラブ、グループ、地区の各レベルの各研修が相互に補完し合い、充実した研修となることを期待します。

Before opening the District Conference – Make the distinct features as the multinational district

The District Conference in Guam will come this February at last. Since we had first District Conference in Guam in honor of the 40th anniversary of Rotary Club of Guam twenty years ago, this is third conference from then for every 10 years.

The host place at the District Conference was decided at the President committee on 15th January, 2007(according to 15.040.1 at RI Bylaws) and it has already passed two years after that. I have ever visited Guam a couple of times on the Tanishima and the Sakamoto year to be held the PETS, the District Assembly and preparation of the District Conference in Guam. These visiting have made valuable exchange and deeply mutual understanding and friendship between the District and the PBG. It is a good chance that the Guam District Conference just makes the world peace and the international goodwill promoted, and a friendship and mutual understanding each other. The purpose of this Guam District Conference is that we present PBG activities to the Rotarians and their families from the inside and outside from the District and promote the Theme of Rotary and the Object of Rotary through the mutual understanding and friendship.

In order to introduce the PBG rotary activities in the recent year, we can not think of it without ‘GROUP FOR ONE’ that has started from the Tanishima year for these three years as a pilot program. This program was planned as matching between each rotary club in PGB and each group of the Tokyo side and as a wide international friendship not to be limited to the service activities. Until then, eight(8) rotary clubs in PBG have made a friendship and service activities with other countries and other Districts more than our District though the PBG is our District. At the Tanishima year, each three(3) club leaders from four(4) clubs of the isolated islands from Guam joined the PETS and the District Assembly, and took the training and solid information exchange among them and finally we took a subsidy of the long distance training from RI.

At the Governor’ s official visiting the needs of eight(8) clubs were investigated and grasped with accuracy and reflected to the project based on last year’ s WCS visiting. These matters showed many actual results at the Sakamoto year and taken over to this year at hop, step and jump. This District Conference of Guam brings the three(3) years pilot program to first end and we expect to consider it on the district level over the club and the group relation in order to deepen the coming PBG activities. Specifically there are two grants of a Dream Plan of RI Foundation to apply to the projects on PBG that was mentioned on Governor’ s Monthly Letter Jan., 2009 number.

I will mainly present the completed on-going project at the conference. The followings are concretely the projects:

1. Clean Water project at Rotary Club of Chuuk

2. Skateboard Park project at the Rotary Club of Saipan
3. Clean Water project at Rotary Club of Phonpei
4. New Generation project as the Rotaract, Student Exchange and the Friendship Scholarship

One of the above projects is especially that the Clean Water project at the state of Chuuk has been continued under the District support by many clubs for three years and it is very necessary to continue. Early in this year, we have received good news from Ms. Funaki, Assistance Governor of Keihin Group it is a possibility and concretely progresses. Let me introduce it on the Attachment A.

As we mentioned last number, RI President' s representative is Mr. Hee—Byung Chae, past RI Director and is now a Chairperson of Korea-Japan Goodwill Committee. From this relation, Mr. Ichikawa of Past Governor is in charge of an aid for him and Mr. Matsushita of Special Mission Secretary is in charge of assistant aid of the President' s representative. And Mr. Matsushita, Ms. Ban of a Chairperson of International Friendship Committee and I paid a courtesy visit to Korea together from January 7th until the 9th.

I met him twice at the Soul and Aomori of Korea-Japan Friendship Conference and breakfast at the District 3650 Conference before and this is first time to talk with him together friendly. I could touch his thoughts of the Rotary and good-natured personality and were happy to visit there. I will introduce his detailed profile next number. He was commissioned to the Governor at 54 yeas old, to RI Director from 1997 until 1999 and to the RI president' s representative for 20 times since 1990. He had a heavy responsibility of the Consultative committee, RI Finance committee and International Conference committee as a counselor of recent three RI Presidents. I was happy to hear of his over thirty(30) years' experiences of the problems of RI finance and Membership reinforcement, current status of international, especially Korean rotary clubs and the thoughts for CLP, etc.

Thanks for these experiences.

＜チューク州蒸留器供給プロジェクト＞

ガバナー 新藤 信之

＜経 緯＞

2006-07谷島年度地区大会のPBGフォーラムの際に138名によるブレンストーミングでチューク州の飲料水確保を最重要課題として決定したことが始まりです。それ以前、パールハーバー RCと広島東南RCがマッチング・グラントを使い、太陽熱による海水蒸留器55基(米国ソーラアクア社製品)をチューク離島のイムウィン島に供給しています。

(総額37,766ドル、地区DDF 1,344ドル使用)

2007年3月、ミクロネシア連邦一帯、特にチューク州北西の低地の離島が高波に襲われ、タロ芋畑と野菜が水害に遭い、トラックラグーンRC(ペリー・キリオン会長)は我々に支援を求めてきました。水害義捐金 3,522,569円が集まり、2008年4月まで3回に分け食糧(米3,000袋)支援を行いました。これを契機として、チューク州離島の飲料水確保への関心が急激に高まりました。谷島年度末、グアム4クラブと国内地区PBG委員会とで水タスクホースを結成、2007年5月、現地チュークへの視察がなされました。

坂本年度では、プロトタイプの場合の製品の質の低下及び製品の保証とアフターサービスの問題、アクア社から購入した場合の製品輸送及び製作コスト、パテントの問題等々のリスクを検討することから始め、2008年9月に検討会議、10月にグアムからの提案として、設計図と予算書が送られてきたことで、グアム4クラブ有志・ローターアクトがプロトタイプの蒸留器60基を製作、2008年4月上旬、グアムRCのビル、バン、トラックラグーンRCのペリー3名他で、トラック諸島環礁外の離島へ届けました。この資金とし、東京城南RCのカーログランスポルトによる200万と地区内クラブ／個人の幅広い寄付により、5,187,876円(48,566.84ドル)集まり送金しました。現在、チューク蒸留器支援基金としてこの残金の他、ゴルフドロップファンド25,000ドル、その後のクラブ／個人の寄付を加え、55,000ドルをグアム側が管理しています(2008年11月ガバナー訪問時現在)。

＜今年度と今後の展望＞

今年度は製品の質とコストの課題を解決し、大量生産計画を前提に、当初200基を目標とし、京浜グループ、中でも東京大井RCが中心となり、地区パイロット委員会支援の下、計画を進めることになりました。

2008年8月末、主に大量生産とコスト軽減問題を解決するために、京浜地区の技術力を生かせないかと、京浜グループ舟木ガバナー補佐、東京大井RC 坂本会長、佐藤パイロットプログラム委員3名はビル・ヘーゲンPBGガバナー補佐と共にチュークの現地調査を行いました。帰国後、都内の大学、国内製造会社、中国製造会社等を訪問、調査・検討の結果、中国製で、生産方式：射出成形、材質：ポリプロピレン、金型：一体成形型が最良であると判断し、上海最大の射出成形品メーカー上海重安社に試作品を依頼し、12月中旬、この試作品の品質検査に舟木ガバナー補佐と坂本会長が上海を訪問、試作品を持ち帰り実験したところ、東京の太陽熱でも海水から飲料水が出来、成功しました。その予算書

は下記の通りです。1基あたり約16,000円。今後は金型代が不要なので、1基あたり1万円を切る計算となります。

収 入		支 出	
地区補助金(希望)	600,000	製造費	5,292,000
グアムRC(金型代)	3,120,000	輸送費	1,430,000
京浜G・地区各クラブ	3,002,000		
計	6,722,000	計	6,722,000

(上記は400基分の予算)

今後の課題は、京浜グループが中心となり、地区の各クラブの賛同を得て、寄金を集めることと、完成した製品400基を配布表に従い、確実に各離島に輸送することです。

更には、次年度、次次年度離島への輸送方法を工夫しながら、製造・輸送計画を立て事業を継続し、初期目標の1,500～2,000基の配布を完了することです。

RI会長代理プロフィール(敬称略)



蔡 熙 秉 (Chae Hee-Byung)

1997-99年度 国際ロータリー理事
東進ケミカル(株) 代表理事(現)
韓日親善委員会委員長(現)
日本茶道裏千家ソウル協会会長(現)

(ロータリー歴)

1972	西ソウルロータリークラブ入会
1979	西ソウルロータリークラブ会長
1982	第3650地区幹事
1986	地区ガバナー
1989	ソウル国際大会副委員長
1993	RI アジア地域大会委員
1994-95	RI Group Discussion Leader
1995	RI Zone Training Leader
1996	RI Glasgow Inst. 委員
1996	RI アジア拡大委員
1997-99	RI 理事
1997-00	RI Zone 9 研究会Convenor 4回
2000-02	RI Brisbane国際大会委員
2002	RI 戦略企画委員
2003	RI John Majiyagbe会長 諮問委員
2003	RI 会長指名委員
2004	RI Osaka Inst. 委員
2004	RI 財政委員
2005	RI 会長指名委員
2006	RI 財政委員会副委員長
2005-07	RI Wilkinson会長諮問委員
2006-07	RI Bhichai財団管理委員長諮問委員
2006	RI Los Angeles Inst. 委員
2007	RI 会長指名委員
2007	RI D.K.Lee会長諮問委員
1998-08	RI 会長代理 20回(日米印比韓)

★国際ロータリー第2750地区出席報告（12月分）★

District 2750 Membership Attendance Report December 2008

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				08年7月1日	08年12月末	増減
千代田グループ	東 京 南	3	79.92	179	179	0
	東 京 芝	4	92.05	95	93	-2
	東 京 新 橋	3	74.69	54	56	2
	東 京 赤 坂	4	77.60	54	53	-1
	東 京 み な と	3	85.80	52	54	2
	東京レインボー	3	82.95	48	46	-2
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	4	73.80	22	23	1
	東 京 銀 座	4	76.07	162	166	4
	東 京 日 本 橋	3	77.96	174	175	1
	東 京 築 地	4	82.69	70	69	-1
	東 京 日 本 橋 東	4	84.14	54	55	1
	東 京 中 央	3	84.35	230	239	9
多摩南グループ	東 京 日 本 橋 西	4	87.21	49	49	0
	東 京 銀 座 新	3	79.27	76	74	-2
	東京シティ日本橋	3	77.30	50	49	-1
	東 京 中 央 新	4	71.10	38	38	0
	東 京 羽 田	4	86.06	45	50	5
	東 京 大 森	3	97.91	52	53	1
多摩中グループ	東 京 品 川 中 央	3	90.64	44	58	14
	東京田園調布	3	86.45	46	50	4
	東 京 蒲 田	3	94.41	60	61	1
	(東京荏原かめりあ)	—	—	(12)	(0)	(-12)
	東京田園調布緑	3	81.82	23	25	2
	東 京 品 川	3	82.66	67	66	-1
多摩東グループ	東 京 大 井	3	82.89	17	18	1
	東 京 港 南	4	78.95	19	19	0
	東 京 大 崎	3	94.59	33	37	4
	東 京 京 浜	2	83.33	23	23	0
	東 京 マ リ ー ン	3	80.70	18	19	1
	東 京 白 金	3	86.90	33	32	-1
山の手東グループ	東 京 高 輪	2	83.50	28	29	1
	東 京 西	3	82.02	157	151	-6
	東 京 城 西	3	83.99	75	81	6
	東 京 西 南	3	87.13	59	58	-1
	東 京 原 宿	3	73.97	31	31	0
	東 京 杉 並	2	81.82	44	42	-2
山の手西グループ	東 京 神 宮	3	68.29	40	39	-1
	東 京 恵 比 寿	3	80.90	100	100	0
	東 京 広 尾	3	75.27	32	29	-3
	東 京 渋谷	4	69.15	45	38	-7
	東 京 六 本 木	4	74.00	52	53	1
	東 京 世 田 谷	3	84.57	49	61	12
多摩北グループ	東 京 目 黒	3	84.09	48	49	1
	東 京 成 城	3	92.00	25	25	0
	東 京 世 田 谷 南	3	82.00	92	92	0
	東 京 城 南	2	56.00	28	28	0
	東 京 山 の 手	3	77.62	68	70	2
	東 京 成 城 新	3	81.76	43	44	1
多摩西グループ	東 京 青 山	3	78.00	31	35	4
	東 京 自 由 が 丘	3	84.56	20	19	-1
	東京世田谷中央	3	76.67	32	32	0
	東 京 八 王 子	3	92.58	60	64	4
	東 京 町 田	3	74.41	61	59	-2
	東 京 日 野	3	84.23	43	41	-2
多摩南西グループ	東 京 八 王 子 西	4	86.03	68	68	0
	東 京 町 田 ・ 中	3	74.06	40	40	0
	東 京 八 王 子 東	3	97.84	31	31	0
	東 京 八 王 子 南	3	90.12	56	56	0
	東京町田サルビア	3	85.93	27	26	-1
	東 京 飛 火 野	3	72.73	32	33	1
多摩東西グループ	東 京 町 田 東	3	80.00	31	31	0
	東 京 八 王 子 北	4	79.03	33	33	0
	東 京 立 川	4	96.09	88	90	2
	東 京 小 金 井	3	100.00	40	34	-6
	東 京 国 分 寺	4	97.87	54	54	0
	東 京 三 鷹	3	93.40	48	44	-4
多摩南東グループ	東 京 昭 島	3	78.97	50	50	0
	東 京 国 立	4	100.00	56	56	0
	東京立川こぶし	4	89.65	85	87	2
	東 京 井 の 頭	2	88.90	25	27	2
	東京昭島中央	4	82.00	31	31	0
	東京武蔵国分寺	4	98.08	57	54	-3
多摩南東西グループ	東京小金井さくら	3	84.98	22	23	1
	東京国立白うめ	4	83.75	25	23	-2
	東 京 府 中	4	77.62	65	65	0
	東 京 調 布	4	82.60	69	68	-1
	東 京 多 摩	4	75.00	25	29	4
	東 京 狛 江	3	88.00	34	33	-1
多摩南東西西グループ	東 京 稲 城	3	79.41	35	35	0
	東京武蔵府中	4	82.44	52	54	2
	東京たまたがわ	4	75.00	26	24	-2
	東京多摩グリーン	4	80.38	32	34	2
	東京調布むらさき	4	83.63	79	84	5
	Guam		—	63	68	5
バシフィック・ペイシンググループ	Saipan		—	45	46	1
	Tumon Bay		—	96	95	-1
	Northern Guam		—	34	36	2
	Pohnpei	3	38.00	20	21	1
	Palau	5	75.00	16	15	-1
	Guam-Sunrise	5	52.57	34	34	0
国内82クラブ計	Truk Lagoon		—	7	10	3
	国内82クラブ計			4,478	4,516	38
	地区91クラブ計			4,793	4,841	48
	千代田グループ	80.97	多摩南グループ	83.36		
	銀座・日本橋グループ	80.01	多摩中グループ	91.14		
	京浜グループ	86.49	多摩東グループ	80.45		
平均出席率	山の手東グループ	77.65	P B グル ー プ	—		
	山の手西グループ	79.73				
			平 均 出 席 率	83.00		
			(PBGを除く)			
			※ PBグループの出席率については、1月25日現在未着です。次号に掲載予定です。			

編集後記

2月は、世界理解月間です。10年に一度のグアムでの地区大会が開催される月でもあり、今号は2ページ目もガバナーが執筆されました。RI会長代理のプロフィール・ガバナーメッセージ、またP.2の「ウォータープロジェクト」に加えて、地区ホームページ上の会員基盤強化委員長から寄せられた「世界理解月間に際して」と題した

寄稿文をグアム地区大会に向けて会員皆様方にご紹介いただければと思います。

地区大会では「夢をかたち」のもと、皆様はじめPBGの会員の方々と友情と親睦を深め、ロータリアンである事の喜びを分かち合える事を楽しみにしています。

2008-09年度 ガバナー月信・IT委員会 副委員長(月信担当) 浅見 省三(東京立川こぶしRC)

国際ロータリー第2750地区 2008-09年 ガバナー 新藤 信之

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2008-09 Governor Nobuyuki Shindo

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 新藤 信之(2008-09) © Nobuyuki Shindo 2008

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会委員長 森本 行俊 副委員長(ガバナー月信担当) 浅見 省三

竹平 時彦 中野 博義 田辺 克彦 松田 美房 清野 修一 坂場 一隆 渡辺 卓美 山見 真弘 木村 清信 高柳 数利

ガバナー月信・IT委員会副委員長(IT担当)：河村 勝久

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>